

## 人も犬も楽しい旅行

愛犬はあなたにとって大切な家族ですか

もし、家族ならば家族旅行を計画しましょう

愛犬を置いていくのができなくて、旅行をしたことがない

子供が大きくなって、一緒に旅行に行くことがなくなった

そういう人は、思い切って愛犬を連れて旅に出ましょう

愛犬は、いつでも一緒にうれしいし、色々なことに興味津々

今までとは違った愛犬の一面がわかります

あなたにとって愛犬とは何ですか

大切に、愛おしいものであることはわかります

若干シニアな方にとっては、お孫さん？

若い夫婦にとっては子供でしょうか

子供にとっては、遊び仲間や兄弟

だれでも、一緒に楽しい旅をしましょう

楽しい思い出ができれば、それは大事な宝物です

さて、どんなコースが良いかな

愛犬にとって最もうれしいことは、あなたがリラックスして楽しんでいること

だから、特別に愛犬のためのだけのメニューは考えなくても良いですよ

あなたが、興味を持っているところも計画に入れましょう

歴史好きには、史跡をまわったり、パワースポットに行くのもいいですね

ただし、愛犬と一緒に入れないところが多いですね

旅犬まさお君みたいには、いろいろな所へはいけません

事前の準備が大切です

観光にとって

いい環境に浸ってリラックスする

興味のあることについての知識や経験が得られる

おいしいものを食べる

温泉にはいる

お土産を買う

色々な人と楽しい出会いをする

そして、愛犬にとっては思い切り遊びまわることも重要です

食事は楽しくしたい

ドッグカフェでは、普通愛犬と一緒に、室内で食事やお茶ができます  
でも、愛犬OKというところでも、屋外のテラス席のみというところもまだまだ多いですね

日帰りの場合、悪天候の日には出かけないにしても、非常に寒かったり、風が強いとやはり屋外はつらいですね

お泊り旅行の場合は、雨でも楽しめる場所を計画に入れておく必要があります

愛犬の社会化が大切

愛犬を連れて行く場合、愛犬がどこでも平気であると旅も楽しくなります

他家の愛犬に吠え続けたりするとやはり気を使ってしまいます

おとなしく、一緒にいられるとより楽しいですね

また、ところかまわずのマーキングや大きな忘れ物はひんじゅくものです

最低のマナーは心得てください

愛犬も色々なところに行くと、社会化の勉強にもなるようです

狂犬病注射（登録）や予防注射は必ず

愛犬の登録と毎年の狂犬病注射は必ず受けてください

また、ワクチン注射もほとんどのところで入場の必須条件となっています

生理中の女の子も、他の愛犬を誘惑してしまいます

繁殖を考えていないのならば、避妊したほうがその他の病気予防のためにも良いようです

万が一、旅行先で花火に驚いてという事態も考えられます

マイクロチップ等の対策をしておいてください

受け入れ側の対応も色々

一概にペット可となっても、その対応は千差万別です

一緒にお泊りをうたっていても、愛犬は別棟のゲージの中というところも

ホテルの一室のみがペット可というところも

ドッグランの場所のみが、自由にできて、その他はリードではNOも

愛犬用のサービスは、すでに行っていませんもあります

それでは、少し細かく見てみましょう

#### 1) ドッグホテル

犬好きのペンション経営者が経営しているもの

リゾートホテル事業者によるもの

大手ホテル事業者が、その一部をペット共用としたもの  
等があります

リゾート地の観光ホテルと同様で、そのホテルで一日を楽しむことができます  
また、ホテル独自の色々な企画を行っていることが多いようです

## 2) ドッグカフェ

犬好きのオーナーが経営していることが多いようです  
一般的に多店舗展開事業者はほとんどない  
他の事業（ホテル・ブリーダー等）を行っていることも多い  
食事を犬と一緒に屋内で食べることが可能  
人のみであると、入店を断られることがある

## 3) ドッグラン

公営のものもある  
他の事業者が、併設していることが多い  
事故に関しては、自己責任であるので、社会化不十分のものは、迷惑となる  
人のみでは入れないことが多い

## 4) 犬をメインにしたテーマパーク

犬と遊べるをテーマにした観光施設  
犬の状態を最善にしておくことはかなり大変  
犬に関する訓練や、トリミング学校を併設しているところは、良好  
廃業や休業しているところもかなりある

## 5) 動物・植物をメインにしたテーマパーク

通常は、一緒に入れるところが多い  
一部エリア（食事処等）は、入場できない  
フラワーパーク・観光牧場等が多い

## 6) その他のテーマパーク

一般的に、入場は不可が多い  
一部のみ入場を認めているもの  
場外にドッグランを設けているところもある

## 7) 博物館・美術館

一般的に入場不可

ケージ、抱っこ等で入場を認めているものもある  
一部で、特別なサービス（例えば、ドレスアップして写真を撮る）がある

#### 8) レストランや一般のカフェ

一般的に入場不可  
テラス席ではOKのところも増えている  
まれに室内でもOKのところがある

#### 9) アウトレット

一般的に、域内へは入場自由  
フードコートは不可  
一部店舗は、ゲージ、抱っこOK  
ペット用品店は、リードでOK

#### 10) サービスエリア

新しいところでは、ドッグランやお散歩コースがあるところが  
店舗内は、一般的に入場不可  
テラス席のみ  
犬用グッズやおやつを販売していることが多い

#### 11) 道（川・海）の駅

24時間、トイレは使用可能  
店舗内は、一般的に入場不可  
テラス席はOKのところが多い  
犬に対しての考慮は、まだあまりされていないところが多い

#### 12) 通常の公園

犬お断りがなければ、通常はOK  
色々な人が利用するので、マナーには十分すぎるほどに  
混んでいるときには、避けたほうが無難  
忘れ物には、注意

#### 13) 名勝

一般的にはOK  
リードは命綱  
自然公園地域では、常識的な判断が必要

#### 1 4) 神社・仏閣

一般的には、境内地は OK

住職や神主の考え方で、犬を不浄とみなすところは絶対不可（近づくべからず）

犬用のお守り等を、扱っているところは OK

動物霊園関係寺院も原則 OK

#### 1 5) 体験施設

一般的には、入場不可

ペットの手形のついた皿（作陶体験）、T シャツ作り等は歓迎

ゲージ・抱っこでの入場可もある

#### 1 6) 観光地のお土産屋

一般的には、入場不可

外で待っているのが良い

#### 1 7) 犬用品専用のお土産屋及び物販

一般的には、入場歓迎

店には看板犬がいて、歓迎

#### 1 8) 温泉

残念ながら、一緒にお風呂に入って極楽、極楽とは行かないようです

全くないわけではありません

しかし、裸の付き合いは難しいようです

それでは、楽しい旅行で、思い出をたくさん作ってください